

岩倉克年の略歴

講演会用レジュメ転用

1944年（昭和19年1月）和歌山市生まれ

学歴 吹上小学校、西和中学校、桐蔭高等学校、和歌山大学経済学部卒

今年の主な活動

南ロータリークラブで30分の卓話「松下幸之助成功の秘訣」
雄湊小学校で5年生を対象に「松下幸之助の成功のエピソード
と理由」の話をしました。終わりの5分間「感謝と瞑想」体験

松下幸之助生誕の地での語り部の話

パナソニック自転車の社員さん

創業者にお会いしたような気分です。

松下政経塾OB杉本哲也さん

塾主の新しい一面を知りました。

ミーティングの話（会場は 主に ビッグ愛）

水曜日から土曜日の午前中ミーティングします。

時間帯を設定するため。前日受付の完全予約制です。

緊急の場合は携帯に電話してみてください。

「1、2、3」雑念消去法

心で「1、2、3」と唱え続けることで雑念を消去します。

癒し、リラックス、ヒラメキ、心の成長などの効果があります。

寝起き、眠る前、入浴中、信号待ち、電車の中で、その他の隙間の時間

10秒でできます。くり返しが大切です。

α波の達人の中から イチロー選手の話

ミッドα波 91%

松下幸之助さんの話

坐禅する人、悟った人

月例会の話（会場 ビッグ愛9階・会議室）

毎月第一日曜日 午前9:30～12:00まで

体験を話しをしたり、人の話を聴いて勉強しあう会です。

第一回目は5月2日です。

「人間力を育てる会」

思いやりや精神的自立と、行動力を育てることが目的です。

メモ書きの大切さ

気づきやヒラメキを書くことで生活が変わります。

発明や工夫、文章を書くなど創作に役立ちます。

[例] 島精機社長・島正博、アメリカの発明王・エジソン

講演「人生はいつでもやり直せる」 (PDFは一部表現などを編集)
改めてごあいさつします。「こんにちは」

春の行楽シーズンにも拘らずたくさんの方がお集まりくださりまして有難く思っています。

始めにお断りしておきますが、この講演の終わりには質疑応答の時間はありません。質問はミーティングの時にお伺いします。

後でお話しするようにキャッチボールの会話が理解を深めるからです。

まず略歴と学歴を申し上げますが坐禅や悟りなど皆様が聞いた事もないような話をします。

NPOの会でお会いした県の職員さんなどは「危ない人かと思っていました。普通の人で安心しました」と言われました。

キャッチボールのできないメールのセイですが、他にもそのような人がいました。

主な原因は「オウムの麻原君です」彼が嘘八百言うのために「瞑想。解脱」などという言葉を使ったセイです。

ともかく「変なこと言うよ、もしかしたら麻原みたい」と思われてしまったら、後の話はすべて誤解されかねないので学歴を申し上げます。

1944年・昭和19年・1月生まれです。

吹上小学校、西和中学校、桐蔭高校学校、和歌山大学経済学部卒業です。皆様は住所氏名はお分かりになっています。

ウソは言わず真実のみを話します。

昨年の活動で主なもの

4月 和歌山市南ロータリークラブで30分の卓話

演題「松下幸之助成功の秘密」

11月 幸之助さんの出身母校・雄湊小学校で5年生50人を対象に

「松下幸之助・成功のエピソードと成功した理由」の授業。

内容は10日ほど前の打ち合わせた時、先生がリクエストされたことを話しました。小学生の子に「感謝と瞑想」をしてもらいました。「1、2、3」には宗教性がないことを説明して理解を頂きました。瞑想は「1、2、3」の瞑想をさせて頂きました。

アンケートや年末のお手紙集ではなかなか好評でした。

本文

さて去年は「松下幸之助さんの名前」を前に出して**2回講演会**をしました。

今回は幸之助さんの人生や教えを学んで、皆様、ご自分の人生に生かして

頂きたいという思いを 強く 前に出してみました。

この原稿は4作目です。難しすぎたり、長すぎたりして作り直してきました。

生誕の地の語り部の話で パナソニックの自転車の社員さんたちとの話や松下政経塾の塾生さんとの話は結構難しいかと思います。

その間は居眠りしていただいていたと思います。

この会の話に戻ったとき隣の人に起してもらいます。

今日 お話しする「1、2、3」は難しいことを知らなくてもできます。

この会の準備中に私のご近所の人たちに話をしても**人生はいつでもやり直せる**という言葉に多くの方が強い関心を寄せてくれました。

いつも買い物するスーパーのレジの女の人に言うとメッチャ反応がいいのです。少し詳しく話を始めるとなんやそんなことかという感じで。

「私はまた離婚してやり直せるのかと思ったのに」というのです。

私は慌てて「よその家もめさせるような事話しせえへんで」と言いました。

枕終わり

さて今日お集まりの皆様も、それぞれに興味を持って来ていただいた事だと考えています。

私は丸2年間、松下幸之助生誕の地で、週5日のペースで掃除のついでに、**語り部のボランティア**もしてきました。

お客さんは ほとんど**県外の方たち**です。駐車場にきた車が県外ナンバーの時に 近づいていって注文を取るのです。

「語り部のボランティアをしています。どれ位 時間がおありでしょうか」

その様な感じでお客さんを捕まえて**キャッチボールの会話**に入ります。

送り出しのときには 松下流の 丁寧な送り出しを 心がけましたが、

お帰りの時には「良い人に出会えました」「よい事を教えてもらえました」とそれぞれに喜んで貰えました。

理由は語り始めに、少し話をしたら お客さんの 興味のもちどころが分かってきます。とりあえず、それに集中して 話しますが、お客さんも質問してくれたり、話をしてくれたりします。

キャッチボールの 会話を続けることで、お客さんはより理解を 深めて帰られます。

色々な記憶に残る語り部の成功例がありますが。

奈良のパナソニック自転車の社員さん 二人が会社の休みの日に来られました。彼らの心を捉えることができたのはその日の2、3日前に電気サポートの真新しい自転車を見かけた話をしたからです。

その自転車にはパナソニック自転車と書かれていた話もしました。

またPHP研究所出版の「同行二人」の表紙に、幸之助さんが笑顔で自転車に乗っている写真が載っている話もしました。

自転車屋サンで丁稚奉公したことのある幸之助さんにとって、自分の会社で自転車を作りたかったのですねと言う話もしました。

このような話は二人のプライドを満足させたことでしょう。

私はこのような話し方、目の前の人を大切に、喜んでいただける話、そして成長、あるいはその人の幸せにつながるような話が自動的にできます。(和顔愛語)だと考えています。

それは後で言いますが、私の「悟りの力」です。

お客さんがパナソニックの働き盛りの社員さんですから、彼らの成長への期待を込めて深い話もしました。

社内での研修が行き届いていて、幸之助さんに関しては知識も豊富です。

それで私は彼らが知らないことを話しました。

「幸之助さんが悟った人であること、毎朝30分から一時間の瞑想をされていたこと」について話し、その根拠についても詳しく話しました。

そして悟りというのはどういうことかという事を、幸之助さんが「素直な心になるために」という本に書かれていることや、私の自身の「悟り体験」も織りまですべて話をさせていただきました。

彼らは帰り際に「創業者にお会いしたような気分です」と丁寧にお礼を言ってくれました。

そのころは若い人に期待をかけて坐禅をお勧めしていました。

幸之助さんのような人になって欲しいからです。

この成功以来パナソニックの社員さんであっても語り部の注文を取るのを躊躇することがなくなりました。

去年春の講演会の打ち合わせで公園近くの喫茶店でパナソニック電工の社員さん二人と話をしたことがあります。

やはり幸之助さんのことで詳しい話しをしたり、坐禅や悟りの話もさせて頂きました。

二人は「良くは知らないです」と恐縮されました。

私はすかさず「現職の方は会社が儲かるように働くことが第一です。

私は年金さんですから色々本を読んだりできます」とフォローしました。

そのような気配りは当たり前のことです。

パナソニックファンであり、社員さんに元気になって欲しいです。

パナソニックの社員さんのみならず人々にエールを送るのが私の大切な仕事です。

その様なことからパナソニックの社員さんでも気後れすることなく声をおかけできるようになりました。

あるときスーツを着たパナソニックの社員さん4人をキャッチして語り部をさせて頂きました。

地元の人が後から「背広着た人と話してたナー」「おそろしよ」というのです。

「えー」と思いました。彼は掃除をしていることを喜んでくれていますが、私がどんな知識を持っているか殆ど知らないのです。

つまり彼らに詳しい話をする機会が作れないし、彼らも知りたいとも思わないのだろうと考えています。

女の人何人かには少し話したりしましたが、「悟り」のような深い話をすることはめったにありませんでした。だから、私がどのような話をしてお客さんの役に立とうとしているかということも理解していただけていません。

生誕の地を守る会の相談役をお願いしている方から公園においているシオリをパナソニックの社員さんが会社に持って帰ってもらっているような話を聴きました。

多分パナソニックの秘書課の方だと思いますが「生誕の地へ着た社員が持って帰ってくるのはココにおいているこのチラシなや」と言っていたと話していました。

この3月に和歌山大学へ講演に来られた松下政経塾OBの杉本哲也さんが「5月20日には**松下政経塾の新入塾生**の方たちがお墓参りに来られるということ」を教えてくださいました。そして語り部の予約をしていただきました。去年は彼らが塾で坐禅体験もするという事で、塾生さんたちに

坐禅の難しい話しをさせて頂きましたが、今年は難しい話の代わりに「**1、2、3**」の話をさせて頂きたくと考えています。

杉本哲也さんは松下政経塾のHPを読んだときに見つけた人です。

彼の写真を見て「精悍な顔立ちと太い首」に興味を持ちました。

プロフィールを読むと京都大学でアメフトをしていて卒業後は社会人のチームに入っていたと書いていました。

それでスポーツお宅の私は一辺にほれ込んでメールをお送りしました。

その後も政経塾のHPで研究報告を見つけたら簡単な感想を書いてメールしました。

その様なことで私の純真さややさしさを良く理解してくれている人です。

去年生誕の地で2度お会いすることができました。

坐禅と悟りの話をさせて頂きました。

お墓参りに来た塾生さんたちには「私の工夫弁道」という私にとっての「私の坐禅の歴史」のような話をさせて頂きました。

杉本さんは、このときの私の話を、を塾主の新しい一面を教えてくださいましたとメールしてくれました。

工夫弁道は坐禅をして、悟りをつかみ、尚歩いて着た私の道の話ですが、その後詳しく書いてそのほかの「楽しい坐禅、悟れる坐禅」など三つと共にPDFにしてインターネットにアップしました。

私の坐禅のまとめです。

これは坐禅する人で しかも坐禅についてよく知っていないとわかりませんが、ネットで読んでくれた人ただ一人だけ「感銘を受けました。坐禅を考え直します」とメールをくれた人がいました。

彼は全国の禅宗の本山を回り切ったのではないかとこのほど回っています。また本もたくさん読んでいます。

でも少し坐禅の本道から少し外れがちの人です。

全く外れた人たちが本を書いたりしていますから。彼はいい方です。坐禅の本道は「坐りに、坐ること」です。

2, 3日坐れば楽しさが分かりますが、スタートを切る人が少ないです。

つぎは「1, 2, 3」をインターネットに発表します。

多分講演の原稿や資料をPDFとしてアップすることになると思います。

寝ている人はいないでしょうか。会の話に戻ります。

次に、この会の大切な取り組み、**ミーティングの話**をさせていただきます。講演のあとも皆様の成長をフォローをするために、希望される方とミーティングをしていきます。

会場は一応ビッグ愛です。無料の場所や有料の場所があります。

ミーティングは時間帯指定の関係で完全予約制です。

予約客のいない日はお休みです。

ミーティングというのは、私が生誕の地でしていた キャッチボールの会話の体験を生かした、個人やグループの方たちとの対話です。

- ①生まれたばかりの、この会の運営について皆様の個人的な意見を聞かせていただけたら幸いです。
- ②お客さんが お持ちの 個人的な問題を 一緒に考えて行きたいとも思っています。
- ③α波測定を希望される方には「1, 2, 3」の実践で、α波がどれほど成長したか測定させていただきます。α波の成長と**考え方の変化や日常生活の変化**のお話を聞きかせて頂けたらと期待しています。

このミーティングで悩みの相談を受ける場合の参考書を読みました。

その本は「ディープリスニング」という本ですが、お客さんの話をよく聞くこと、傾聴することが大切で、それ以上の方法はないと書かれていました。生誕の地では近くの人が世間話をしに来てくれたり、また中にはそれまでの半生を語って肩の荷を降ろされた方もいました。

その人は「こんなこと今まで人に言ったことないんやけど」と言いながらたくさん話しをされました。その後彼女が公園のそばを通りかかった時には、明るい笑顔で手を振りながら通り過ぎます。

私が彼女にとっては、めったにいない、親しい友人になれたのです。彼女は84歳で、私にとっては、少し年上のガールフレンドです。

誰でも 人には話せないことを 心の底に しまっているものです。それが重荷であれば 誰かに話すことで、少しは軽くなります。

その様な信頼される聞き手になることも、私の役割の 一つかと考えています。

皆様から色々お話を聞かせていただいて、勉強できると楽しみにしています。

また「1、2、3」の実践でα波が成長すると共に、ご自分で、ご自分にふさわしい「やりなおしの方法」を見つけてくれるものと期待しています。考え方が大きく変わると「何であんなことで悩んでいたんやろ」と思えるほどになります。

自分のやり直す方法を見つけられた時に「1、2、3」の大切さやディープリスニングの効果を実感して頂けると思います。

言いたかったのは本を読む前からディープリスニングができていたことを知って欲しかったのです。

これも悟りの力です。目の前の人を「自動的に」大事にしようとしませう。

次に「1、2、3」

すべての人に合うアドバイスなどありませんが、「1、2、3」は私がお伝えできる心を癒す方法であり、悩みの解決方法 であり、また素直な心を育てる方法でもあります。

そういう意味で「1、2、3」だけはどなたにでも通用するアドバイスだと考えています。

そこで皆様にお願ひがあります。

素直な心を育てて 人間力をアップして 家庭や地域が元気になるように積極的に参加をしていただく事をお願いいたします。

社会参加に直ぐにかかれる人がいたり、少々時間がかかる人がいたりする
と思いますが。人それぞれだとお考えください。

主な理由は生活環境の違いです。

家庭は一番身近で、小さな社会です。

家族は 血がつながっていても 個性を持った他人です。

うまく付き合うには 個性を尊重しあうこと が大切です。

当たり前のことですが。忘れがちです。

「1、2、3」をするのによい時間は

朝目がさめた時、夜布団に入った時、より詳しく言えば 眠りに入りそう
な時が一番いいです。直ぐに寝てしまうことも あるかと思いますが、
それでもいいのです。瞑想状態の感覚をつかめるからです。

また寝ている間に 瞑想による心の癒しや、あくる朝 目覚めた時に
ヒラメキをくれる 効果も大きいです。

必ず、枕元にメモを用意してください。

『瞑想状態とは』

瞑想は何も考えないように 心がけて するものではありません。

瞑想の目的は 何も考えられない 状態を作ることです。

そのこの所を思い違いをしている 先生方も 多いです。

「1、2、3」をしやすいのは、先にあげた朝、晩だけではなく

車で信号待ちしている時、電車に乗っている時、風呂に入っている時、
他にもたくさんできそうな隙間の時間があると思います。

何しろ10秒あればできるのです。何回も何回もしていただきたいです。

「1、2、3」は幸せになる効果も大きいです。

チェックはココから

「1、2、3」は頭のトレーニングです。

たとえ短時間でも繰り返せば、繰り返すほど トレーニングの効果が
上がるのは他のトレーニングと同じです。

例えば10分の時間を使うとすれば、いっぺんに10分するよりも
1分を10回の方が はるかに効果的だといえます。

「1、2、3」がうまく できているか どうかは

雑念が消えたかどうかで知ることができますが、

それ以外にも目の見え方、音の聞こえ方、で知ることができます。

- ・「1、2、3」がうまく行くと視界全体が広がったような感覚になります。
- ・周りの音がよく聞こえるようにもなります。（耳栓のすすめ）

今日のこの会は「1、2、3」でα波を育てる会ですが、
これを含む大きな会は「人間力を育てる会」です。
資料に簡単に書いています。

α波の達人たちの中から二人の話をします。

まず大リーグで活躍しているイチロー選手の話をしてします。

資料にたくさん上げた人の中で 実際にα波を測定して、数値が残っているのは彼だけです。

彼の悟り体験については直接お便りができないので確認はできていません。
彼の大きな変化は小学校2年生の時に父さんとしていた野球の練習で起こったようです。

坐禅や瞑想と関係なく 悟り体験をした お一人だと考えています。

彼はメジャーでも特別な人です。大変強い「平常心」を身につけています。

よく観察できる力にも 普通の人にはない 特別な鋭さがあります。

その外にもいろいろな特徴があります。

今回彼について書かれた本を 3冊買いました。

その一冊に高校時代に大学教授が測定したミッドα波は91%だったと書かれていました。

それで私も挑戦してみました。結果は ほぼ同じような数字でした。

プリントアウトしたデータをパウチにして保存しています。

私にとってはα波測定値が多いという、大切な証拠です。

ついでに一言、多分同じ数値は出せても、これ以上の数値は出せないだろうと考えています。いうならばこの機器で測れる天井の数値です。

※ 超能力のある人の測定には他の種類の測定方法が必要かもしれません。

時間があれば、「幸之助さんのエピソード」

一昨年の夏 PHP研究所OBの中博さんという方が生誕の地に来られて「幸之助さんは坐禅をする人で悟った人でした」と教えてくれました。

これが 私が 幸之助さんをα波の達人として認定した理由です。

幸之助さんが残してくれた言葉の中で私が一番好きな言葉は

「世界中で一番大事なのは 自分だと はっきり言うたらええ」
という言葉です。

さらに私が付け加えたいのは

「他の人も 皆 そのように、自分が大事な人ばかり」だと言うことです。
人と話すときはその人はその様な人だと思うほうがいいです。

しかし、だからと言って

「自分だけがよかったらええ、という考え方はあまりよくないです」
人と人との衝突が絶えないからです。

行動には出さなくても 心の中で 腹が立ったり 怒りなどが
起こっているかもしれません。それが原因で苦しむことにもなります。
このようなことに対する、私たちの解決法は「1、2、3」です。

幸之助さん自身は

「自分のこと、会社のこと、社員さんたちやその家族のこと、販売店のこと、
お客さんのこと、社会のこと」

を常に考え続けた人です。

月例会について

早々ですが5月2日は月例会です（月例会は毎月第一日曜日午前中）

5月の月例会は **5月2日午前9:30から** この**同じ部屋**で予定しています。

月例会は参加者がお互いに体験や意見を述べ合い、また人の話を聴いて、
お互いに勉強する会です。

希望される方は帰る前に、予約してください。

また当日までに、電話でのご予約もお受け致します。完全予約制です。

ミーティングについて

今日この会が済んでからアトもミーティングを行います。

今日の夕方までの時間を有効に使いたいと考えています。

今後も水曜日から土曜日までの午前中にミーティングをしたいと思います。

休みは「日曜日、月曜日、火曜日と不定休です」

私の資料とHPについて

資料はご自宅などでお読みになって「1、2、3」や「育てる会」について
理解を深めていただけるように作りました。

簡単な物ですがテキストです。ココに来られる時に持ってきてください。

今 資料を読んでいたら、とても時間が足りません。

家などでお読みになって 分かりにくい所などはミーティングのときにご質問ください。

資料には私のHPのアドレスも書いています。

HPはすべて私の体験談です。参考文献もお付けしています。

ミーティングの時に、HPのご質問にもお答えします。

資料もHPも、よく考えて書いている積りです。
早飲み込みでダメだと決め付けないようにして欲しいです。
ご自分に必要な部分を時間をかけてお読みください。
前向きなご質問や提案は大いに歓迎します。

「人間力を育てる会」ではいろいろな取り組みを予定していますが、
私たちの**精神的自立と積極的な実行力を育てる**ことが目的です。
その先にあるのは「自分の力でつかんだ**ゆるぎない幸せ**」です。

資料の最後は「ふろく」です。

メモを作ることの大切さを説明しました。

「1、2、3」は勿論大切なことですが、「1、2、3」の最中に何か思い出したらメモをしてください。物忘れがまだ始っていない人でもメモしてください。
気づきやヒラメキは一度消えたら 再び出てこない事が多いです。

メモをすれば「この前気が付いた時にやっとならばよかった」
という事が少なくなります。

何かに仕事にかかろうとした時に

「先にやっとならばよかった」と思えるときは楽しいものです。

講演は短くと考えていましたが長いものになってしまいました。

それでも 私の極一部分しか話せていません。

私は案外 幅が広い人です。多分深さも深いと思います。

ミーティングでは、その時の お相手に 必要な部分に

集中して 話したりすると 思います。

ご清聴有難うございました。

続いて瞑想体験の時間になります。

3分ほど瞑想してから 順にα波の測定をさせていただきます。

測定を希望される方は データのメモ用紙を出して 置いてください。

測定が済んだ方はβ波の数字をメモしてください。

全員が済んだときに一応の終了です。

またお会いできることを楽しみにしています。

送り出しの前に

全員の α 波の測定が済みました。
長い時間お疲れ様でした。

きょうは「1、2、3」のご紹介をしましたが、実を言うと、この測定器に出会うまではこれまで同様に瞑想という方法をご紹介しようと思っていました。

そして、瞑想してくれる人は少ないだろうとも思っていました。

しかし、この測定器で一分間の測定をしてみて小学生にしてもらった5分の「感謝と瞑想」よりも、短い時間でいいと確信しました。

試行錯誤の工夫の結果、「**10秒の雑念消去法**」を思いつきました。

瞑想も短時間の雑念消去法も、私が普段実際に行っていて、効果を良く確認していることをご記憶ください。

有難うございました。

小休憩のアト 希望される方とミーティングをします。
トイレはこの部屋を出て 右へ 少し行って 左折です。
本日は大変有難うございました。お疲れ様でした。
またお会いできることを 楽しみにして お待ちしています。

ミーティングを希望される方は もう一度この部屋に戻って来てください。
有難うございました。

終わり